

●特 徴

- 国土交通大臣認定を取得しているため、認定条件内であれば設計・計算等の手間が不要で、計画から認可までの期間を短縮でき、手続きも簡素化できます。
- 前壁が垂直であるため、土地を最大限有効に使用できます。(建築研究所におけるクリープ実験結果より)
- コーナー部の角度を90°~180°迄自由に設計できます。
- 機械施工を行うので工期の大幅な短縮が出来ます。
- 鉄筋の被りを4cmにすることにより100年の耐久性があります。(建築研究所におけるコンクリートの中性化実験結果より)
- 部材の耐力をおとさずに製品重量が軽くなるように断面がT型になっております。
- ウォールアート(カラー模様仕上げ)を始め各種の表面化粧を用意してあります。

●設計計算法

- L形擁壁の自重と底版上の土の重量が、擁壁背面の土圧に対して転倒・活動・沈下の安全率が1.5以上あることを確認し、擁壁の各断面についても安全の確認を行ってあります。尚、壁面摩擦係数等計算に必要な係数については建築研究所より指導を受けております。

●築造工法

- 敷設された基礎の上に敷モルタルを敷き、トラッククレーンによりザ・ウォールⅡを敷ならべ接続用プレートを用いボルト締めでザ・ウォールⅡ間の接続を行い、目地部分および水抜き孔にフィルターを施し、ザ・ウォールⅡの裏面の所定の位置に止水コンクリート及び透水層を設け埋め戻しを行い完了します。

